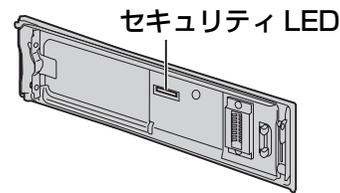


パネルの脱着・お手入れのしかた

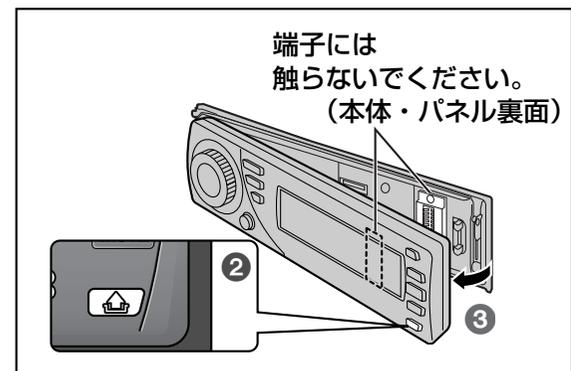
車から離れるときにパネルを取りはずせるので、盗難防止の用途に使用できます。
(デタッチャブルフェイス)

- パネルを取りはずすと、盗難防止用のセキュリティLEDが点滅します。
(セキュリティ機能がONの場合 48ページ)



取りはずしかた

- 1 本機の電源を切る
- 2 (リリース)を押す
- 3 パネルを手前に引く(クリック感があります。)

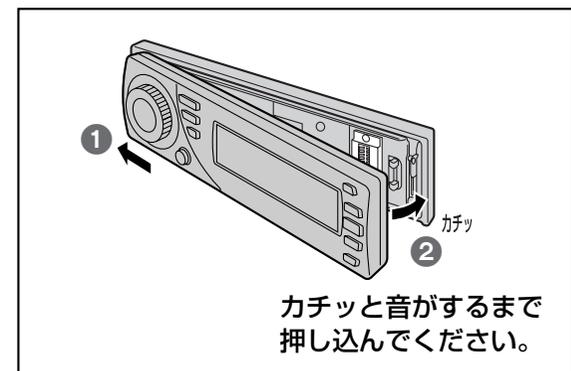


お願い

- パネルを閉じた状態(全閉)に戻してから、はずしてください。また、パネルが動いているときに、取りはずさないでください。
- 本体とパネル裏面の接点(端子)には触らないでください。電气的な接触不良を起こす原因になります。汚れやゴミなどがついたときは、清潔な乾いた布で拭いてください。

取り付けかた

- 1 左端を本体に差し込む
- 2 右端をはめ込む



取りはずしたパネルは

- 破損や汚れを防ぐために、乾いた柔らかい布で包むなどして保管してください。
- 衝撃を与える、落とすなどしないでください。
- 気温が上がるダッシュボードやその周辺に、置かないでください。
- 故障の原因になりますので、水をかけたり、湿気の多いところに置かないでください。
(パネルは防水されていません。)

パネルのお手入れについて

パネルが汚れたときは

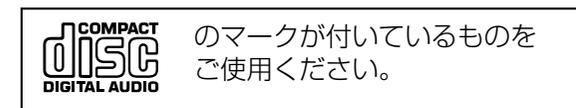
- 電源を切ってから、乾いた柔らかい布で拭いてください。
- ベンジンやシンナー類を使うとケースや塗装が変質しますので、使用しないでください。
- 化学ぞうきんをご使用になる場合は、使用上の注意をよく読み、必ずお守りください。



使用しない

ディスクの取り扱い

CD (コンパクトディスク)



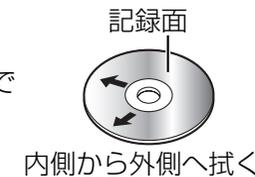
持ちかた

記録面に手を触れないように持ってください。



CDが汚れたら

水を含ませた柔らかい布で拭いたあと、乾いた布で拭いてください。



- 回転する方向に拭かないでください。
- ベンジン、シンナー、レコードクリーナー、静電防止剤を使用しないでください。

CD-R/RWディスクのご使用について

- CD-DA、MP3、WMA以外のデータ(ビデオCDなど)は、再生できません。
- CDレコーダー(CD-R/RWドライブ)で記録したCD-R/RWディスクは、その特性・汚れ・指紋・キズなどにより、再生できない場合があります。
- CD-R/RWディスクは通常の音楽CDに比べ高温多湿環境に弱いため、長時間の車内環境において劣化し、再生できない場合があります。
- CD-R/RWディスクの取り扱いについては、ディスクの使用上の注意書きをよくお読みください。
- クローズセッションされていないCD-R/RWディスクは再生できません。

CDの保管について

長時間使用しないときは

- 必ず本機から取り出してください。
- ゴミ・ほこりなどの汚れやキズ・そりなどを避けるため、必ずケースに入れて保管してください。

次のような場所に置かないでください

- 長時間直射日光のあたるところ(車のシート、ダッシュボードの上など)
- 暖房器具の熱が直接あたるところ
- 湿気やゴミ・ほこりの多いところ
- 腐食性のある外気にふれるところ
- 強い静電気・電氣的ノイズの発生しやすいところ

コピーコントロールCDについて

パソコンなどによるコピー防止を目的にコピーコントロールが施された音楽CDが発売されています。これは、現状CD規格に合致しないディスクであり、本機で再生できない場合があります。通常のCDを用いた再生には支障がなく、コピーコントロールCDを用いた再生のみに支障がある場合は、コピーコントロールCDの発売元にお問い合わせください。

下記のようなディスクは使用しないでください。本機の内部で引っ掛かるなどして、ディスクの破損および本機の故障の原因になります。

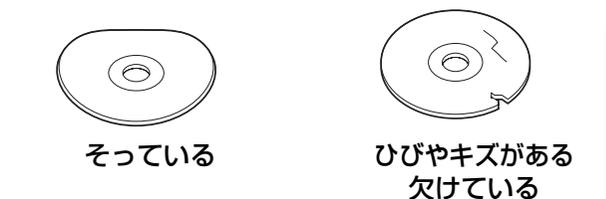
■ 円形以外の特殊な形状のディスク



■ ラベルなどを貼り付けたディスク



■ 破損・変形したディスク



■ 粗雑なディスク



パネルの脱着・お手入れのしかた / ディスクの取り扱い

必要なときに